

春日部市立医療センター 経営強化プラン【骨子】

1. はじめに

■ 策定の目的

- ・地域の基幹病院として、持続可能な地域医療提供体制の構築を目指す。

■ 対象期間

- ・令和6（2024）年度から令和9（2027）年度までの4か年

2. 当医療センターの概要

■ 概要

- ・診療科目 ・主な認定施設 ・規模・病床機能 ・主な医療機器

3. 現状分析

■ 外部環境分析

- ・将来的な人口の推移 ・将来的な患者数の見込み ・患者受診動向

■ 内部環境分析

- ・経営環境 ・患者の来院状況 ・患者数の状況

■ 当センターの分析

4. 前回改革プランの評価

■ 目標達成に向けた取り組みと評価

- ・地域の中核的医療機関としての取り組み ・地域がん診療連携拠点病院としての取り組み
- ・小児・周産期医療における取り組み ・救急医療における取り組み
- ・地域包括ケアシステムにおける取り組み

■ 医療機能等に係る数値実績

- ・がん登録数 ・手術件数 ・分娩件数 ・救急受入件数 ・紹介率 ・逆紹介率

■ 経営指標に係る数値実績

- ・経常収支比率 ・医業収支比率 ・入院患者数 ・入院診療単価 ・外来患者数 ・外来診療単価
- ・職員給与費比率 ・材料費比率 ・後発医薬品使用割合

5. 経営強化プラン

（1）役割・機能の最適化と連携の強化

■ 地域医療構想等を踏まえた果たすべき役割・機能

- ・がん医療、小児・周産期医療、救急医療、災害時医療などの地域拠点病院としての役割を担います。

■ 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能

- ・急性期病院として医療機関との連携を強化し、長期入院者の退院支援等を進めます。

■ 機能分化・連携強化

- ・病診連携・病病連携を推進することで地域の医療機関との連携を強化し、紹介受診重点医療機関として、高度医療・専門治療が必要な患者の受入れを強化します。

(2) 医師・看護師等の確保と働き方改革

■ 医師・看護師等の医療従事者の確保

・関連大学等との関係強化、医療職就業貸付金貸与、奨学金制度、臨床研修医・実習生の受入れなどにより、人材の確保に努めます。

■ 医師の働き方改革への対応

・タスクシェア・タスクシフトや DX 推進により、勤怠管理の把握に努めます。
・業務効率化、安全性の向上等の視点より、最適な DX の推進と働き方改革を推進します。

(3) 経営形態の見直し

・病院事業管理者の権限により、公営企業としての独立性強化と効率的かつ効果的な病院経営を実現できることを踏まえて、現状の地方公営企業法「全部適用」による経営形態を継続します。

(4) 新興感染症の拡大時等に備えた平時からの取り組み

・新型コロナウイルス感染症対応で培ったノウハウを活かし、新興感染症の拡大時に備え、転用可能なスペースの確保、薬品・診療材料等の備蓄、専門人材の育成などを進めます。

(5) 施設・設備の最適化

■ 施設・設備の適正管理と整備費の抑制

・新病院開院から 7 年経過しており、策定期間最終年度の令和 9（2027）年度には 11 年経過することになるため、計画的な修繕を行い施設の長寿命化を図ります。
・医療機器更新計画に基づき、計画的な更新・導入を行い高度医療の維持に努めます。

■ デジタル化への対応

・各種情報システム等を活用して、医療情報の連携・待ち時間の短縮などの患者利便性向上とともに、情報セキュリティ対策の強化を図ります。

(6) 経営の効率化等

■ 主な医療機能等指標に係る目標値

・がん登録数、手術件数、分娩件数、救急受入件数・受入率、紹介率・逆紹介率

■ 主な経営指標に係る目標値

・経常収支比率、修正医業収支比率、入院患者数、入院診療単価、外来患者数、外来診療単価、病床利用率、職員給与費比率、材料費比率、常勤医師数

6. 点検・評価・公表

・本プランで設定した各項目は、毎年度進捗管理の中で点検・評価を行い、その結果を当医療センターのホームページで公表します。

■ 地域医療構想等を踏まえた果たすべき役割・機能

・がん医療、小児・周産期医療、救急医療、災害時医療などの地域拠点病院としての役割を担います。

